



[学習会]

北海道が目指すべき エネルギー利用の道筋とは？

私たちの快適な暮らしに欠かせないエネルギーを、地域の自然エネルギー資源でどう賄えばよいのかを森林資源を例に考えます。

私たちは快適な暮らしを送るためにエネルギー、特に化石燃料を大量消費し、気候変動の原因を作ってきました。その対策の一つとして、道内では木質バイオマスの利用量が増えています。しかし、それらの多くは大型火力発電所で使われており、大量の熱が捨てられています。あるべき木質バイオマス利用として、従来から進められてきたボイラーやストーブ等による熱利用、小型の木質バイオマス発電による熱電併給などについて考えます。

- ・日時：2022年5月21日（土） 15:00～17:00
- ・場所：石狩市花川北コミュニティセンター 2階
会議室 B・C
石狩市花川北3条2丁目1番地 ☎[0133-74-6525](tel:0133-74-6525)
- ・講師：北海道大学大学院工学研究院助教、NPO 法人北海道
新エネルギー普及促進協議会
理事長 山形定氏
- ・費用：500円（資料代ほか）



6月学習会のご案内

「人類の原点からエネルギー問題を問う」

自殺のない社会がいまもあります。その社会や生活様式、彼らの依拠する自然界をもとに、いまのエネルギー問題をみなさんとともに考えます。

- ・日時：6月12日（日） 13:00～15:00
- ・場所：石狩市花川南コミュニティセンター 2階 和室 1・2（石狩市花川南 6-5）
- ・講師：星槎大学教授 西原 智昭 氏
- ・費用：500円（資料代ほか）

主催・問合せ：石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会 安田 携帯 090-6211-1602

<https://windturbine.lbcc-alumni.jp/index.shtml>

HPをぜひご覧ください。海外の動画なども見ることが出来ます。